令和５年度　第３回　住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

１　日　時　　令和６年２月22日（木）　午後６時から午後８時
２　場　所　　住吉区役所　４階　第４・５会議室
３　出席者
（委　員）
稲田委員、尾畑委員、西田委員、八牟禮委員、藤居委員、松岡委員、宮川委員
小野アドバイザー
（区役所他）
区長、副区長、関係課長、課長代理、担当係長
住吉区社会福祉協議会　事務局長、地域支援担当係長

４　議　題
報　告
（１）住吉区地域見守り支援システム進捗状況について
議　事
○　「住吉区地域福祉ビジョンVer.3.0」（案）について

５　議事要旨等
○「住吉区地域福祉ビジョン」改訂にあたり、事務局素案をお示しし、委員意見をいただいた。

主な委員意見

○基本理念、基本目標
・「ゆるやかなつながり」がキーワード
・つながりが本来の最終目標でない。手段であり目標にならないように。
・つながった先のまちの姿が示せないか。
・「ゆるやかなつながり」をキーワードとして、「声を上げられる」を強調。
・「ゆるやかなつながり」が広がってしあわせになる。しあわせは人によって違う。
・子どもが見てわかるのか。大人がしっかり読んで説明することになる。
・大切なことをよりわかりやすく、簡潔にする。
・図にするとわかりやすいのでは。
・もうちょっとわくわくするような内容に。
・幸せの意味は２つある。「いい暮らしをする」「その人らしい生き方」
・ビジョンは「その人らしい生き方」つながり、ポジティブに見たメッセージ。

○基本目標１
・これまで取り組めたことは別冊にした方がわかりやすいのでは。
・意見を言いあう、話しあうしんどさ。違う意見の者同士の協議はしんどい。
・「ものが言える」「意見が言える」は、関係ができてからでないと難しい。

・参加型のゆるやかなつながりから。
・「めざす姿」のところに目標が書かれている。枠組みの整理をするとわかりやすい。
・文化的要素入っていない。
・楽しめるようなこと、わくわくすること、住吉区のいろんなイベント等入れたらいい。
・目標のところに、「自分だったらこれはできるな」があればいい。
・「ゆるやかなつながり」自分も参加してみようかな、声掛けしてみようかながあればいい。
・余計なお世話ではなく、誰もが声かけできる住吉区になったらいい。

○基本目標２
・わかりやすい表現ができれば。
・「気になる人」を感じれる人と感じない人がいるのではないか。
・福祉だけでなく、まちづくりの取組み等も盛り込んだ方がつながりを表現できるのでは。
・個別支援から地域支援へ。一般の人にはイメージしにくいのではないか。
・福祉的視点で書かれているので、関わっていなければ難しいと感じる。
・専門用語。本人に原因を帰さない。シンプルに表現できれば。
・基本目標１と２の違いは、基本目標１は「地域で住民同士が作っている福祉」、基本目標２は「専門職が作っていく福祉」となる。
・ビジョンはめざすべき方向性を示すもの。具体的な取組みは、専門会議で進捗管理。
・みんなにわかってもらいたい。大人向けビジョン+２パターン作るか。
・地域福祉に関心がない方に関心を持ってもらえるものに。

６　令和６年度の開催日程について（予定）

第１回　　令和６年　６月　６日（木）　午後６時から
第２回　　令和６年 10 月 31 日（木）　午後６時から
第３回　　令和７年　２月　６日（木）　午後６時から